

# バードリサーチ

寄付者による投票で  
支援額が決まる

# 調査研究支援プロジェクト

あなたの1票を、調査研究の推進力に！



## 1. 選ぶ

バードリサーチが募集し、一次選考によって選んだ最大9件+バードリサーチからの1件の調査・研究プランの中から、応援したいプランを選んでください。

## 2. 寄付

個人一口  
3,000円

\*何口でもOKです。

## 3. 投票

1口の寄付に対して1票をお預けします。寄付が複数口の場合、ひとつのプランに何票投票しても構いませんし、複数のプランに投票することもできます。投票先を指定しない寄付も大歓迎です。

## ●寄付&投票するには...



### a. クレジットカードで寄付を送る場合

下記のホームページをご覧ください。

[http://www.bird-research.jp/1\\_event/aid/kifu.html](http://www.bird-research.jp/1_event/aid/kifu.html)

### b. 銀行または郵便局から寄付を送る場合



#### Step 1. メールまたはFaxを送る。

下記の担当宛てにメールかFaxで次の項目を伝えてください。

- ・お名前とご住所
- ・メールアドレス
- ・寄付口数
- ・支援する調査・研究プラン  
(寄付が複数口の場合は、プランごとの票数)
- ・あなたのお名前を支援先に伝えて良いかどうか

バードリサーチ調査研究支援プロジェクト担当  
高木 憲太郎

E-mail: [br@bird-research.jp](mailto:br@bird-research.jp)

Fax: 042-401-8661

#### Step 2. お金を振り込む。

下記のいずれかの口座に合計額を振り込んでください。  
(振り込み手数料はご負担ください。)

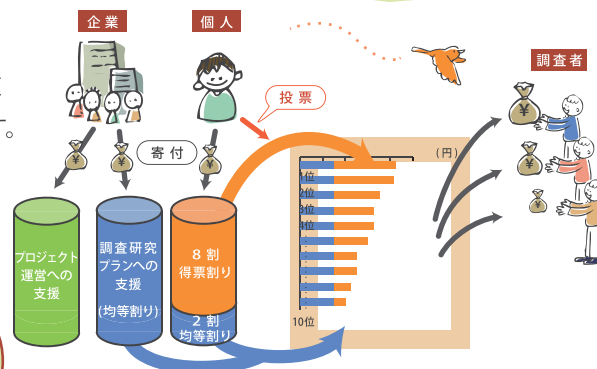
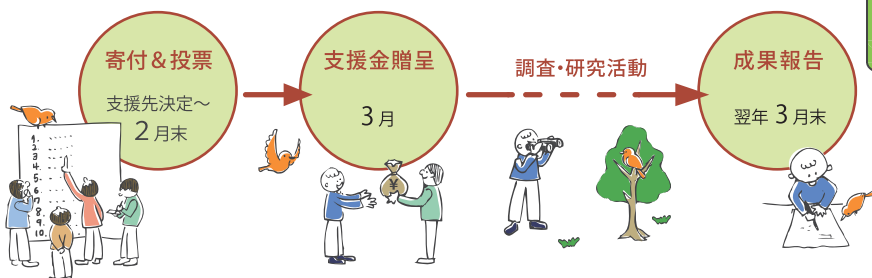
- ジャパンネット銀行 (銀行番号 0033)  
本店営業部 (支店番号 001)  
普通 8148578  
名義: トクヒ) バードリサーチ
- 郵便振替口座  
記号番号: 00150-9-685654  
名義: 特定非営利活動法人 バードリサーチ
- 郵便貯金 (ばるる口座)  
記号番号: 10120-49233551  
名義: 特定非営利活動法人 バードリサーチ

## ●支援額の決定方法

集まった寄付のうち、2割を支援先に均等に分配し、8割を得票数に応じて支援先に分配します。また、企業からいただいた寄付は支援先に均等に分配します。

1件のプランへの支援額は、1万円～50万円程度を想定しています。

## ●スケジュール



# 2019年度 支援先調査研究プランのご紹介

2019年9月～10月に支援先となる調査研究プランの募集を行ない、23件のプランが集まりました。その中から支援先を決定するため、上田恵介立教大学名誉教授、出口智広兵庫県立大学准教授、金井裕日本野鳥の会参与、植田睦之バードリサーチ代表の4名で一次審査を行ない、バードリサーチからの1件を含め10件の支援先を選定しましたので、各プランの概要をご紹介します。詳細はホームページにPDFで掲載しています。



## 日本にいる日本にいない鳥

### — 飼鳥として国内に存在する非在来種鳥類の調査 —

西田澄子

海外の珍しい鳥が観察されて、話題になることがあります。その理由の一つが「籠抜け」と呼ばれる飼育個体が逃げ出したというもの。実はこの問題の全貌はよくわかっていません。西田さんは、籠抜けについてのウェブ情報の収集と販売店の実地調査によって、どんな鳥が多く籠抜けしているのかを調べ、籠抜け防止について考えるきっかけを作りたいと考えています。



## 愛知県矢作川支流、籠川両岸の樹木伐採工事に伴う生息鳥類の変化調査

渥美美保

毎年のように各地で大きな水害が起きています。そのためか、以前にも増して河畔林の伐採が進められているように感じます。渥美さんは、籠川でも樹木の伐採がこの冬に行なわれることを知り、2018年3月から事前調査を続けてきました。工事後も同じ調査を続け、鳥たちにどんな影響があるのか、明らかにしようとしています。

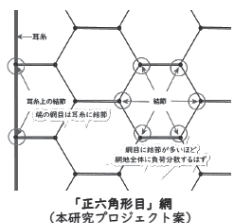


## 日本生まれのノジコ、フィリピンでの暮らし

### — 越冬地における個体数、生息環境 —

出口翔大（福井市自然史博物館）

夏鳥の減少について考えるとき、越冬地のことが頭を過ぎります。しかし、どんな環境に生息しているのか、多くの種でわかっていません。繁殖地が日本のみとされているノジコもそんな鳥のひとつです。出口さんは、主要な越冬地と考えられているルソン島北部に向かい、越冬個体の数や越冬環境を明らかにしようとしています。



## 野鳥が羅網しにくい網の研究

### — 野鳥を護る防鳥網を考える —

内田理恵

内田さんは、ハス田でのカモ類の羅網について扱った2017年度の池野さんと安藤さんの調査研究プランとは、少し違う角度から、この問題の解決に取り組もうとしています。着目したのは防鳥網の構造です。一般的なひし形の網目を、六角形に変えれば、網目に羽などが挟まりにくくなるのではないかと考え、実際に網を作成して、実証試験を行う計画です。



## 泥棒からはやにえを守れ！

### — モズの雄は、はやにえを雌に盗まれないようにはやにえを物かげに隠す？ —

西田有佑（大阪市立大・院・理・動物機能生態学研究室）

モズの雄の生存と繁殖にとって大事な保存食はやにえ。なわばりを防衛していれば、他の雄に奪われることはありませんが……。ペアにならずに、はやにえだけ頂戴して去ってってしまう泥棒雌への対抗手段は？西田さんは、モズの雄が草むらや常緑樹の中などにはやにえを貯える行動を観察し、これが泥棒雌対策ではないかと考え、実験的に検証しようとしています。

## なぜ猛禽類のメスはオスよりも大きいのか？

－ オスの小ささ、メスの大きさ、を生ま出す選択圧を探る －

澤田明（北海道大学大学院理学院博士2年）・江指万里（北海道大学理学部4年）

猛禽類では雌が雄よりも大きい体サイズの性的二型があります。雄は小さい方が、雌は大きい方が子孫を残すのに有利だ、ということがスペインのオオタカの研究で示されています。しかし、子や孫の代の生存率や繁殖成績をみないと結論は出せません。そこで、澤田さんと江指さんは南大東島のリュウキュウコノハズクの19年分のデータを使って、この問いに答えを出そうとしています。

## スズメのつがい外父性

－ 浮気された雄は、子育てに非協力的になる？ －

坂本春菜（北海道大学理学院自然史科学専攻修士1年）

坂本さんは、スズメの繁殖について研究している中で、雄の雛への給餌頻度が個体によって大きくばらついていることを発見しました。鳥の世界ではつがい相手ではない相手と交尾することが知られていますが、坂本さんは、自分の子ではない雛が多いと、雄は給餌頻度を減らすのではないかと考え、DNAによる分析で親子関係を調べて、雄の育雛貢献度との関係を明らかにします。

## 台風19号による攪乱はツバメの集団ねぐらにとって吉か凶か

－ 東京の河川域ツバメ集団ねぐら調査2020 －

渡辺仁（NPO東京生物多様性センター）

ツバメは夏になるとヨシ原に大きなねぐらを形成するようになります。多摩川にも2つのねぐらがありましたが、台風19号によってそのヨシ原は流されてしまいました。渡辺さんは、地元の他の団体とも協力し、大きく環境が変化した多摩川で、ツバメたちがどこに集団ねぐらを作るのか調べ、その場所の環境を明らかにしようと計画しています。

## 長時間録音データから鳥の声を楽に見つけ、楽に記録したい

－ 時刻・鳥名入力支援Webアプリ(トリル)の開発支援のお願い －

大坂英樹

ICレコーダーを使うことで、鳥のさえずりや鳴き声を記録し、どんな種がそこにいるのかや、繁殖時期などについて知ることができます。しかし、音を聞いて出現する鳥を記録する作業は、思った以上に大変です。大坂さんは、録音データのチェックが簡単にできる自作ソフトを、誰でも使いやすいものにするため、Webアプリを開発しようとしています。

## インターネット・バードソン

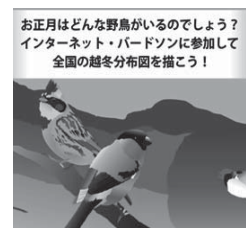
－ バードウォッチングするだけで野鳥調査に参加できる仕組み作り －

バードリサーチ

バードウォッチャーが観察し、手帳などに付けている野鳥の記録は、たくさん集まれば全国的な自然環境の変化を知り、絶滅などの危機を未然に防ぐ上で貴重なデータになります。そこで、バードリサーチの野鳥記録Webサイト「フィールドノート」を利用して、バードウォッチングで観察した野鳥の種数を全国の鳥仲間と競争するイベント「インターネット・バードソン」を開催し、楽しみながら野鳥記録を電子化してもらえる仕組みを広めます。

# バードリサーチ 調査研究支援プロジェクト

[http://www.bird-research.jp/1\\_event/aid/kifu.html](http://www.bird-research.jp/1_event/aid/kifu.html)





# バードリサーチ 調査研究支援プロジェクト

## 支援意思表示 Fax 連絡票

お名前： ( ) ご住所： ( 〒 )

E-mail： ( ) 支援先にあなたのお名前を伝えたくない場合は右の口にチェックしてください

001 日本にいる日本にいない鳥  
— 飼鳥として国内に存在する非在来種鳥類の調査 — ( ) 票  
西田澄子

002 愛知県矢作川支流、籠川両岸の樹木伐採工事に伴う生息鳥類の変化調査  
渥美美保 ( ) 票

003 日本生まれのノジコ、フィリピンでの暮らし  
— 越冬地における個体数、生息環境 — ( ) 票  
出口翔大 (福井市自然史博物館)

004 野鳥が羅網しにくい網の研究  
— 野鳥を護る防鳥網を考える — ( ) 票  
内田理恵

005 泥棒からはやにえを守れ！  
— モズの雄は、はやにえを雌に盗まれないようにはやにえを物かげに隠す？ — ( ) 票  
西田有佑 (大阪市立大・院・理・動物機能生態学研究室)

006 なぜ猛禽類のメスはオスよりも大きいのか？  
— オスの小ささ、メスの大きさ、を生子出す選択圧を探る — ( ) 票  
澤田明 (北海道大学大学院理学院博士2年) ・江指万里 (北海道大学理学部4年)

007 スズメのつがい外父性  
— 浮気された雄は、子育てに非協力的になる？ — ( ) 票  
坂本春菜 (北海道大学理学院自然史科学専攻修士1年)

008 台風19号による攪乱はツバメの集団ねぐらにとって吉か凶か  
— 東京の河川域ツバメ集団ねぐら調査2020 — ( ) 票  
渡辺仁 (NPO東京生物多様性センター)

009 長時間録音データから鳥の声を楽に見つけ、楽に記録したい  
— 時刻・鳥名入力支援Webアプリ(トリル)の開発支援のお願い — ( ) 票  
大坂英樹

010 インターネット・バードソング  
— バードウォッチングするだけで野鳥調査に参加できる仕組み作り — ( ) 票  
バードリサーチ

■支援先を決めずに寄付する ( ) 票

銀行または郵便局から寄付を送ってくださる場合は、メールの代わりに、この用紙を使って Fax でご連絡いただくこともできます。  
Fax 後に銀行または郵便局の指定口座に、合計額を振り込んでください。

1票 = 1口 3000円 × 合計 ( ) 票  
= 寄付額合計 ( ) 円



送付・連絡先  
バードリサーチ調査研究支援プロジェクト担当 高木憲太郎  
E-mail br@bird-research.jp Fax 042-401-8661